

専門教育科目

講義科目

基本/記述

授業科目名	チームワークの心理学	科目コード	配当年次	単位
担当教員	永山 祐輔	EH45	3・4	2

科目の概要

近年まで日本人はチームワークを発揮するのが得意だと言われてきた。しかし成果主義が導入されてから、自己の業績を重視することや自分さえミスをしなれば良い、というような認識が浸透してしまった組織も多い。

本科目では、社会心理学の領域が扱う集団研究の成果を踏まえ、「個人」「集団」を超えた優れたチームワークを発揮するための様々な知識・方法について理解を深める。

科目の到達目標

- ① チームワークの概念や基本的理論を理解し、チームワークの本質を十分理解することができ、適切な表現で記述することができる。
- ② 本科目で得た知識・理論・方法論に基づき、自分自身の体験を分析し考察して、自らの省察力を高め、良好なチームワークを築くことができる。

テキスト 『チームワークの心理学』山口 裕幸,サイエンス社,2008年

テキストの読み方

- ① 「集団」や「社会」、「チーム」などの概念を整理し、説明できるようにする。
- ② 各章で記述されている研究成果や理論を十分に知り、端的に説明できるようにする。各章で、“人名(年号)”と記述されている箇所は、先行研究の成果や理論などについて述べられている。例えば、テキストp.9“広田(1981)”の部分では、集団の定義について述べられている。こうした部分を重点的に学習しておくことよ。
- ③ 第1章「概念」、第2章「測定」、第3章「発達」、第4章「効果」、第5章「育成」についてまとめられている。それぞれを整理した上で理解し、相互の関係について自分なりに考える必要がある。
- ④ 組織やチームの問題や、組織やチームを扱う社会心理学の利点・欠点などを理解する。

単位修得の方法

レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。